

九州・沖縄の介護職員、意外と仕事に満足？継続意向も前向き！でも、未来は不安視

～ 5年後の「持続可能な介護提供体制」に8割が不安。将来への見通し難が九州・沖縄地方全体で強く示される～

介護事業所向けに医療ソリューションを提供するドクターメイト株式会社(本社: 東京都中央区、代表取締役・医師青柳直樹、以下ドクターメイト)は、九州・沖縄地方在住の介護施設等での勤務経験者441名を対象に、介護現場の課題に関する調査を実施しました。賃金水準の低さが課題のトップとなり、5年先の介護提供体制の持続可能性に80%が不安を示した一方、仕事の満足度や継続意向など前向きな傾向を示す意外な結果が明らかになりました。

調査トピック

1. 介護の仕事への「満足」がやや優勢。沖縄県では前向きな意見が50%を超える
2. 3年後の継続意向、沖縄県・宮崎県・福岡県で前向きな回答がトップ
3. 介護の仕事をする上での課題「賃金水準が低い」が全体でトップ。福岡では「人材難」がトップに
4. 今後5年先の介護提供体制の持続可能性、80%が明確に見通せず

調査概要

調査期間: 2025年6月4日～6月11日 調査方法: インターネット調査

調査対象: 九州・沖縄地方の介護施設や老人ホーム等の高齢者向け施設、訪問介護・看護サービスなどでの勤務経験者(現在勤務・過去勤務含む)。かつ介護福祉士・介護助手・ケアマネが対象。

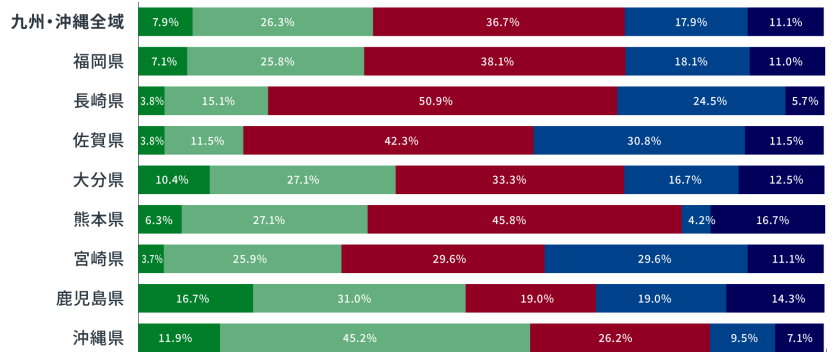
調査人数: 男女計441名(内福岡県155名、長崎県53名、佐賀県26名、大分県48名、熊本県48名、宮崎県27名、鹿児島県42名、沖縄県42名)

1. 介護の仕事への「満足」がやや優勢。沖縄県では前向きな意見が50%を超える

地域全体では、介護の仕事に対する満足度は、満足している人がやや多い結果に。鹿児島県や沖縄県では「満足している」という回答が多く、「やや満足している」と合わせると約半分、もしくは半分以上の方が満足している結果になりました。一方、長崎県や佐賀県では「どちらともいえない」も合わせると80%以上が否定的な回答となりました。

Q.現在、また過去に勤められていた介護の仕事に対する満足度をお聞かせください。

■ とても満足している ■ やや満足している ■ どちらともいえない ■ やや不満である ■ とても不満である



調査期間：2025年4月4日～6月11日 調査方法：インターネット調査
調査対象：九州・沖縄地方の介護施設や老人ホーム等の施設長や介護士、訪問介護・看護サービスなどの勤務経験者（現在勤務・過去勤務含む）、かつ介護福祉士・介護助手・ケアマネが対象。
調査人数：男女計441名（内：福岡県155名、長崎県33名、佐賀県26名、大分県48名、熊本県48名、宮崎県27名、鹿児島県42名、沖縄県42名）



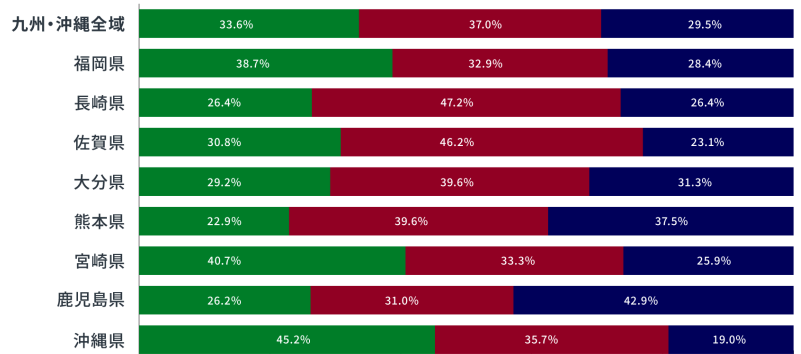
2. 3年後の継続意向、沖縄県・宮崎県・福岡県で前向きな回答がトップ

3年後も続けていると回答する割合は、全体では前向きな回答が優勢。県別では沖縄県（45.2%）が最も高く、次いで宮崎県（40.7%）、福岡県（38.7%）が全体平均よりも高い割合となりました。

逆に継続意向に否定的な意見が、鹿児島県（42.9%）が最も高く、次いで熊本県（37.5%）、大分県（31.3%）が全体平均よりも高い割合となりました。

Q.3年後、現在の介護の仕事を考えていると考えますか？ また過去に勤務されていた方は、介護の仕事への復職を考えますか？

■ はい、考えている ■ わからない ■ いいえ、考えていない



調査期間：2025年4月4日～6月11日 調査方法：インターネット調査
調査対象：九州・沖縄地方の介護施設や老人ホーム等の施設長や介護士、訪問介護・看護サービスなどの勤務経験者（現在勤務・過去勤務含む）、かつ介護福祉士・介護助手・ケアマネが対象。
調査人数：男女計441名（内：福岡県155名、長崎県33名、佐賀県26名、大分県48名、熊本県48名、宮崎県27名、鹿児島県42名、沖縄県42名）



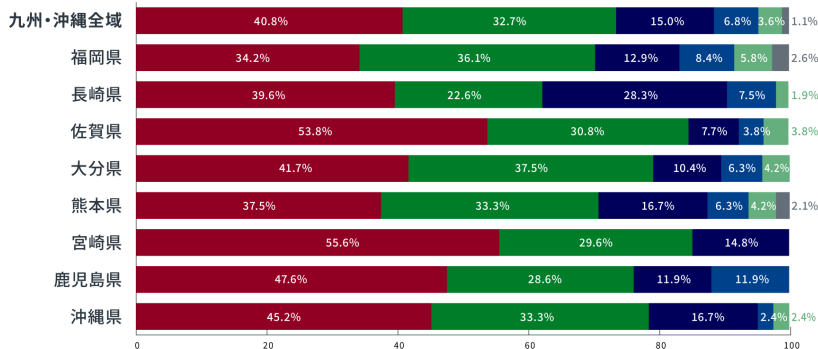
3. 介護の仕事をする上での課題「賃金水準が低い」が全体でトップ。福岡では「人材難」がトップに

ほぼ全体で「賃金水準が低い」と回答した割合が最も高い結果となりました。特に佐賀県では50%以上の方が賃金水準の低さを課題として挙がりました。

しかし、福岡県では「人材が集まりにくい」が最多となり、人材確保の難しさが指摘されています。長崎県では「高齢化率が高く、重度な利用者が多い」という回答も多く、地域によって違いが出ていることが分かります。

Q.九州・沖縄地方で介護の仕事をする上で、特に「課題」だと感じることは何ですか？

■賃金水準が低い ■人材(特に若手)が集まりにくい ■高齢化率が高く、重度な利用者が多い ■交通の便・移動が大変
■利用できる地域資源(医療・他サービス)が限られている ■その他



調査期間：2023年6月4日～6月11日 調査方法：インターネット調査
調査対象：九州・沖縄地方の介護施設や老人ホーム等の高齢者向け施設、訪問介護・看護サービスなどの介護事業者（現在勤務・過去勤務含む）、かつ介護福祉士・介護助手・ケアマネが対象。
調査人数：男女計441名（内：福岡県155名、長崎県33名、佐賀県26名、大分県48名、熊本県48名、宮崎県27名、鹿児島県42名、沖縄県42名）

DoctorMate

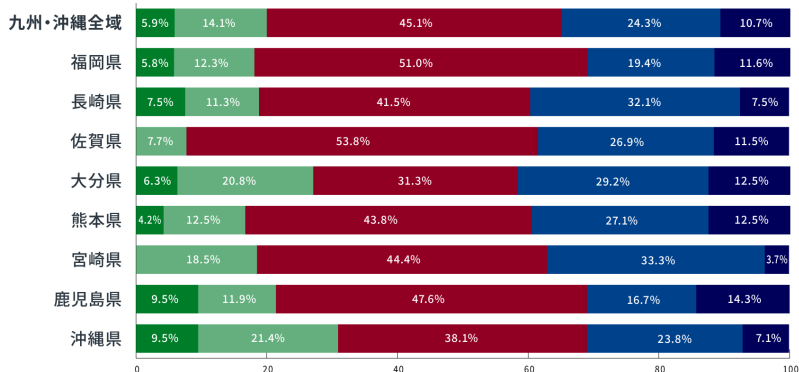
4. 今後5年先の介護提供体制の持続可能性、80%が明確に見通せず

「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」「どちらともいえない」を合計すると、回答者の80%が将来の見通しが立たないと感じていることが明らかになりました。一方で「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答の割合を見ると、大分県と沖縄県で比較的高い傾向が見られます。

自由記述のコメントからは、地域による状況の違いがうかがえます。「福岡市は九州の他の都市に比べて人材が多い方だと思う(福岡県40代・女性)」という意見がある一方で、「高齢化が進んでいる割に若年層が少ない(鹿児島・60代・男性)」といった声も寄せられています。

Q.今後5年先を見据えた時、あなたの地域の介護提供体制(人材確保、サービスの質維持など)は、持続可能だと思いますか？

■とてもそう思う ■ややそう思う ■どちらともいえない ■あまりそう思わない ■まったくそう思わない



調査期間：2023年6月4日～6月11日 調査方法：インターネット調査
調査対象：九州・沖縄地方の介護施設や老人ホーム等の高齢者向け施設、訪問介護・看護サービスなどの介護事業者（現在勤務・過去勤務含む）、かつ介護福祉士・介護助手・ケアマネが対象。
調査人数：男女計441名（内：福岡県155名、長崎県33名、佐賀県26名、大分県48名、熊本県48名、宮崎県27名、鹿児島県42名、沖縄県42名）

DoctorMate

ドクターメイト株式会社 代表取締役・医師 青柳直樹のコメント



今回の九州・沖縄地方の介護職員調査では、賃金水準の低さという課題が浮き彫りになりました。

しかし、仕事への満足度や継続意向は意外にも前向きな結果も出ており、前回実施した東北地方を対象にした調査とは違う特徴が現れたと考えます。これは九州・沖縄地方の社会経済や地理的な条件、介護施設の運営方針、地域コミュニティとの連携などが、介護職員の働きがいや定着に影響を与えている可能性を示唆しています。5年先の介護提供体制への不安の声が多い中、現場の声に耳を傾け、地域に寄り添った対策を講じていく必要性を強く感じます。

今後も継続して調査を行い、介護業界の課題解決に貢献していきたいと考えています。

・ドクターメイト株式会社について

会社名 :ドクターメイト株式会社

代表者名 : 青柳直樹
資本金 : 9,000万円
本社所在地: 東京都中央区東日本橋三丁目7番19号東日本橋ロータリービル9階
公式サイト: <https://doctormate.co.jp/>

ドクターメイト株式会社は、オンラインでの日中医療相談や夜間オンコール代行™など、介護施設(特養、老健、介護付有料老人ホーム、認知症型グループホーム等)スタッフ専用のサービスとして提供し、人材不足や夜間業務等によるスタッフの業務負担をサポートします。

2017年12月の創業から導入施設も増え、現在は国内40都道府県以上、1,200を超える介護施設に導入。2022年12月には介護職向け医療教育サービス「Dスタ(DM-study)」をリリース。2024年8月には認知症ケアに対するオンライン精神科医療養指導、さらに皮膚科オンライン診療をリリース。

<表彰歴>

内閣府地方創生SDGs「官民連携優良事例」(2023)
日経クロストrend「未来の市場をつくる100社【2025年版】」選出(2024)
週刊東洋経済「すごいベンチャー100」選出(2024)
経済産業省「ゼブラ企業・支援拠点事例」選出(2025)

・本件に関する報道関係者からのお問合せ先

本リリースに関するお問い合わせやご取材、またデータの提供など下記までお問い合わせください。
お急ぎの方は、広報の携帯番号までご連絡ください。

会社名: ドクターメイト株式会社
広報担当: 叶 兼稔
メールアドレス: cd@doctormate.co.jp
代表番号: 03-6822-5055 / 携帯番号: 080-5523-5013
FAX: 03-6682-5635